



Daslight 5

quickstart guide

はじめに

Daslight 5 はDaslight4を最初から作り直し、ソフトウェアのさまざまな要素に大きな変更を加えました。このマニュアルは、Daslight 4ユーザーを念頭に置き、新しいソフトウェアへの移行を進めるために書かれたものです。

FAQ

1) Daslight 5をインストールするPCの最小システム要件は？

現在、daslight.com/download のダウンロードリンクの横に最小要件を記載しています。

2) Daslight 4 プロジェクトを Daslight 5 で使用できますか？

Daslight 4 プロジェクトは Daslight 5 で部分的に開くことができます。これは今後数ヶ月で改善される予定です。

3) Daslight 5 のフルモードとエクスプレスモードの違いは何ですか？

Daslight 5 Express には以下の制限があります：

- スーパーシーンなし
- 一度に再生できるシーンは4つまで
- ライブミキサーなし

4) Daslight 5と互換性があるデバイスは？

Daslight 5 は SUT テクノロジーを搭載した全てのデバイスをサポートしています。

Daslight 5 は、有効なライセンスを購入し、インストールされていれば、SUT テクノロジーを搭載したすべてのデバイスをサポートします。しかし、これは一部の古いデバイスが新しいソフトウェアと互換性がない可能性があることを意味します。以下は、SUT テクノロジーと互換性のある機器の全リストです：

- DVC Gold, GZM and FUN (latest models)
- DVC Fun (older model)
- Light Rider LR512
- Sushi-Z1 and Sushi-DS
- MyDMX 3, MyDMX GO and MyDMX Buddy
- Cameo DVC Pro and Cam DVC
- Beamz USB and US

5) Daslight 5 ライセンスの入手方法を教えてください。

Daslight 5 ライセンスを購入、または無料トライアルを開始するには、<https://store.dmxsoft.com/>にアクセスし、'My Interfaces' に移動してデバイスを検索し、ライセンスアップグレードオプションをご覧ください。

6) EasyRemoteをDaslight 5で使用できますか？

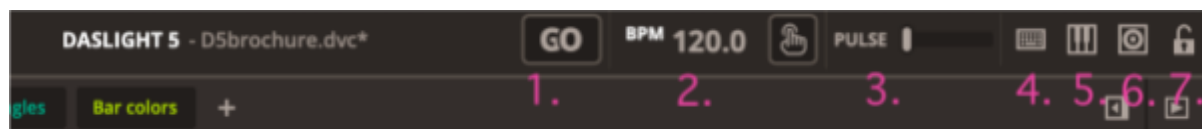
EasyRemoteはDaslight 5とは互換性はありませんが、Daslight 5のために特別に新しく改良されたアプリを開発しました。これはDaslight Remoteと呼ばれ、App StoreとGoogle Play Storeで入手可能です。

ユーザーインターフェイス

ワークフロー

Daslight 5を開いて最初に気がつくのは、タブが4つから3つになったことでしょう。Edit'と'Live'スクリーンは'Control'という1つの使いやすいタブに統合されました。以前は'Patch'と名付けられていた画面は'Setup'となり、以前は'Show'と名付けられていた画面は'Touch'となりました。

レイアウト



トップパネルに、いくつか新しい機能が追加されているのがわかるとおもいます。これらの機能は以下の通りです：

- 1) Beat GO - シーンコンテンツ参照
- 2) BPMとTEMPO タップ
- 3) PULSE入力レベル
- 4) キーボードマッピング: ボタンをコンピューターのキーボードにマッピングします(詳細はコントロールセクションを参照)。
- 5) MIDIマッピング: 機能をMIDIデバイスにマッピングします(詳細はコントロールセクションを参照)。
- 6) タッチマッピング-コントロールスクリーンの機能をタッチスクリーンにマッピングします。
- 7) ロック - Daslight 5 を部分的または完全にロックします。

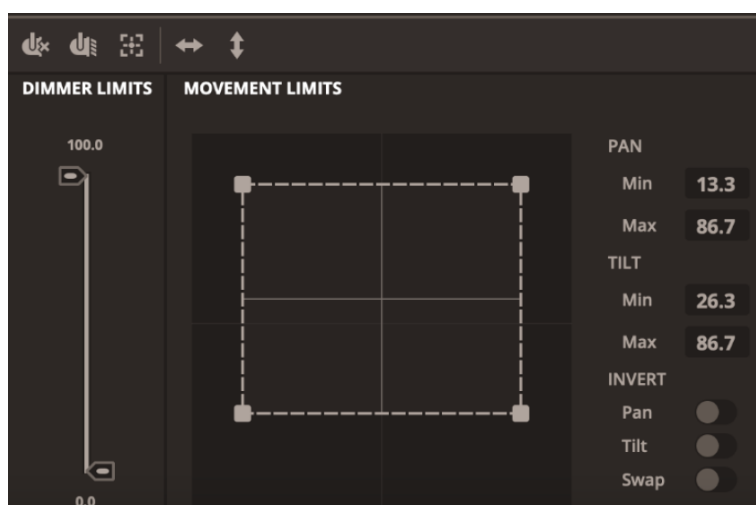
Setup

Strip と Matrix fixtures

カスタム・マトリックスとカスタム・ストリップ・フィクスチャを即座に作成する新機能を追加しました。ビームのモード(RGB、RGBW、WWCWなど)とビーム数を選択できます。

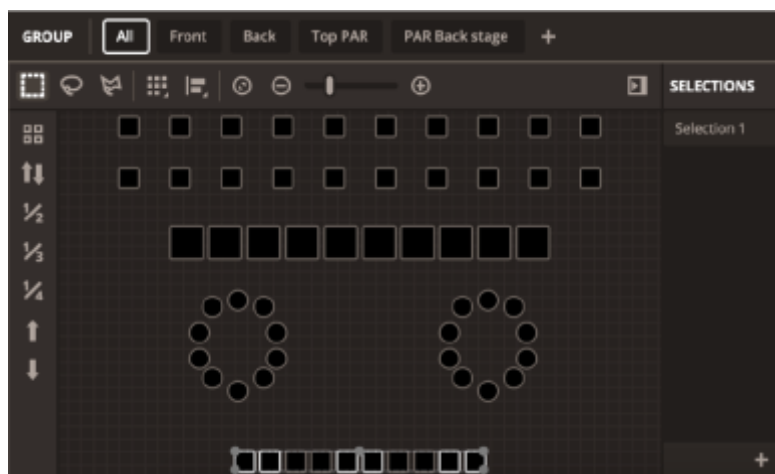
Limits

ディマーとムーブメントのリミットを設定できるようになり、セットアップのコントロールが格段に向上しました。



Groups & Sections

異なるタイプのフィクスチャを同じグループに追加することができます。Daslight 4で「グループ」と呼ばれていた機能です。Daslight5では「セクション」と呼ばれています。



Control

合理化されたワークフロー

Daslight 4の'Edit'画面と'Live'画面を統合し、'Control'画面としました。これは以下のように機能します：

- ボタンの左側をクリックしてシーンを再生する。
- ボタンの右側をクリックしてシーンを編集／選択する。
- シーンのどこかを右クリックすると、名前の変更、削除、複製などができます。

Effects

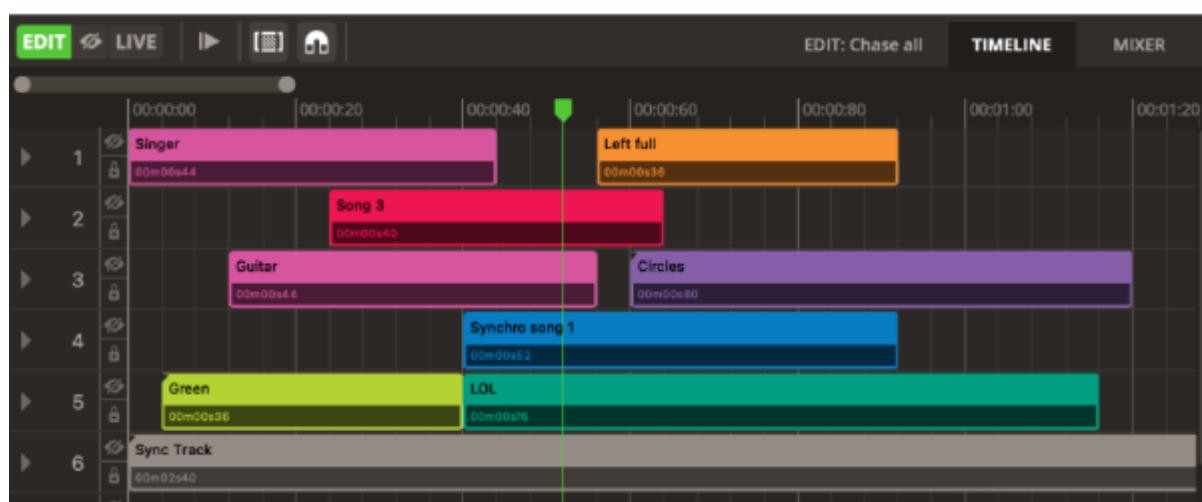
エフェクトをステップに変えるために、エフェクトを生成する必要はもうありません。編集したいシーンを選択し、画面右側のオプションからシーンタイプを選択するだけです。エフェクトにフィクスチャを割り当てるには、2Dビューからフィクスチャをハイライトし、赤い「FX」ボタンを押します。シーンタイプを選択しない場合、シーンは'Static'タイプのシーンになります。



Super Scenes

Super Sceneオプションを選択すると、画面右下にタイムライン表示が現れます。シーンをタイムラインにドラッグ & ドロップして、凝ったシーケンスを作ったり、異なるシーンを重ねたりすることができます。シーンをループさせたり、延長したり、短くしたりするには、シーンセグメントの上の角をクリックしてドラッグするだけです。目のアイコンを押すとタイムライン・チャンネルの出力を無効にでき、そのすぐ下のロック・シンボルを押すとチャンネルをロックできます。また、右向きの矢印を押すと、ディママーとフェイシングのオートメーション・オプションを表示することができます。

オーディオファイルをSuper Sceneに追加すると、特定の曲やオーディオにライトを正確に同期させることができます。

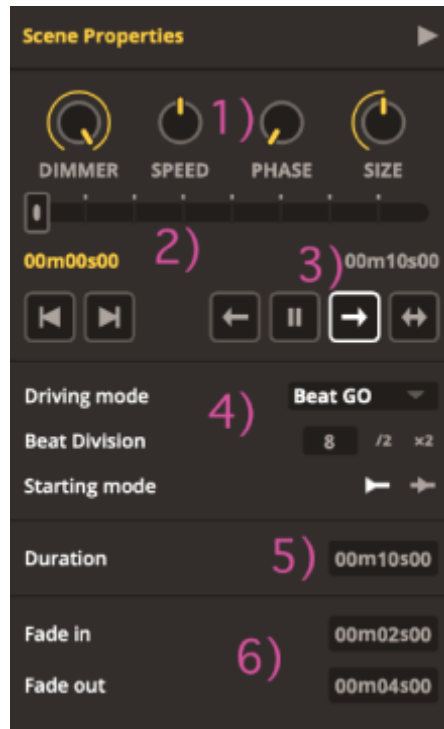


Scene settings

画面の右端に、選択したシーンの設定が3つのタブで表示されます。それぞれのタブにはユニークな機能があります：

Properties

- 1) 4つのライブコントロールダイヤル - リアルタイムでシーンを編集するために使用します。
- 2) タイムフェーダー：シーンの再生位置を表示します。
- 3) 再生方向：リバース、ポーズ、フォワード、バウンスオプション
- 4) ドライブモード - BPMシンク、パルスシンク、BEATGo (画面上部のGOボタン、または左/右のスキップボタンを使用してください)
- 5) デュレーション - シーンの長さを設定します(これはステップ・シーンでも機能します)
- 6) Fade In / Fade Out (フェードイン/フェードアウト)-シーンのフェードインとフェードアウトのタイミングを設定します。



Contents

- Scene settings。設定はシーンの種類と特殊効果の選択によって異なります。

Advanced

- Advanced tab には、以前のソフトウェア・バージョンと同様に、ループ、ジャンプ、リリースの設定が含まれています。

Features & faders

フィクスチャーは左下ではなく右下でコントロールできるようになりました。これらは'Features' (フィーチャー) のタブに分割され、アクセスしやすくなっています。



Live Mixer

非常にエキサイティングなライブミキサーツールも追加されました。これを使用して、ストロボ、ブラックアウト、ディム、フラッシュ、ライトの色相や彩度を変更できます。各グループにはライブ・ミキサー・チャンネルがあり、すべての機能はコンピューターのキーボード、MIDIコントローラー、タッチスクリーンにマッピング可能です。



MIDI & キーボードマッピング

キーボードとMIDIのマッピングは、とても簡単にできるようになりました。

画面の右上にある「Keyboard Mappings」または「MIDI Mappings」ボタンを選択します。

ボタン、フェーダー、ダイヤルに表示される色のオーバーレイを確認してください。

マッピングしたい機能(例: シーン1プレイ、グループBディマーなど)を選択し、割り当てたい外部コントロールを押す/操作します('Keyboard Mapping'の場合は、キーボードのボタンを押します。MIDI Mapping'の場合は、MIDIコントローラーのボタンを押す、フェーダーを動かす、ダイヤルを回すなど)。

Daslight 4で可能だったように、ショートカットの設定を編集することができます。



Touch

Shortcuts

シーン、フェーダー、ダイヤルのタッチモード機能への追加とマッピングは、alt/option + ソフトウェア周辺のほとんどのボタンやフェーダーをクリックすることで行うことができます。

Touch Mapping

画面右上の「Set Touch Mappings」ボタンをクリックし、キーボードやMIDIコントローラーと同じようにマッピングする方法もあります：

- 緑色のオーバーレイが表示されたボタン、フェーダー、ダイヤルは、タッチコントロールに割り当てることができます。
- 緑のオーバーレイが表示されているボタン/フェーダー/ダイヤルをクリックする
- 対応するタッチコントロールをクリック／移動
- ヒント: この操作を簡単にするために、タッチスクリーンを取り外しておくコントロールとタッチスクリーンの両方に素早くアクセスできます。

